

平成25年度 総合計画ロードマップ 評価シート(イメージ案)

資料1

基本事業番号	1	担当所属	健康福祉部 こども課					
基本事業名	就学前保育の充実と幼保一体化の推進							
総合計画の基本目標	1 豊かな人間性をはぐくむまち							
総合計画の施策名	①子育て・子育て支援の充実							
事業全体の概要	<p><事業期間：平成23年度～平成-年度（継続事業）></p> <p>就学前の教育と保育を取り巻く課題の解決に向け、国の動向、市の就学前教育・保育の現状を踏まえ、子どもたちを心身共に健やかに育むために、幼稚園と保育園が連携して取り組むべき施策及び今後の市立幼稚園と保育所のあり方の基礎となる「野洲市乳幼児保育振興計画」に基づいて施策の展開を図るとともに、低年齢児保育の拡大に必要な施設改修等を進めます。なおまた、野洲市幼保一元化方針および幼稚園・保育園施設整備計画の見直しを行なう。</p>							
事業全体の目標	<p><総事業費見込 一千円（内一般財源 一千円）></p> <p>「野洲市乳幼児保育振興計画」の推進を図り、子育て家庭を支えるために既存の幼稚園・保育園・子育て支援センターをより効率よく活用し、子育て支援をきめ細かく実施します。また、計画的な事業推進のため、「野洲市幼保一元化方針及び幼稚園・保育園施設整備計画」の見直しを行う。</p>							
平成24年度の事業概要と目標	<p><予算額 59939千円（内一般財源 7939千円）></p> <p>「野洲市幼保一元化方針および幼稚園・保育園施設整備計画」および「野洲市乳幼児保育振興計画」に基づいて、施策の展開を推進します。また、平成26年度に開園に向け、(仮称)野洲第3こども園事業用地の造成工事、園舎実施設計に着手しているが、繰越手続きをし、完了しだい、建築工事に着手予定である。</p>							
平成24年度の実績評価	<p><決算見込額 6157千円（内一般財源 千円）></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>進捗度</td> <td>3</td> <td>評価</td> <td>3</td> </tr> </table> <p>「野洲市幼保一元化方針および幼稚園・保育園施設整備計画」および「野洲市乳幼児保育振興計画」に基づいて、施策の展開を推進します。また、平成26年度に開園に向け、(仮称)野洲第3こども園事業用地の造成工事、園舎実施設計に着手した。繰越手続きをし、建築工事に着手する。</p>				進捗度	3	評価	3
進捗度	3	評価	3					
平成25年度の事業概要と目標	<p><予算額 674968千円（内一般財源 55918千円）></p> <p>・平成24年度で(仮称)野洲第3こども園事業用地の造成工事、園舎実施設計に着手したが、翌年度へ繰越をした。平成26年度に開園に向け、建築工事に着手する。</p> <p>・(仮称)野洲第1こども園整備事業については、現在の野洲第一保育園横の用地（家屋補償）を買収するとともに、園舎の建設にかかる基本・実施設計を行なう。</p> <p>また、野洲市子ども・子育て会議を設置し、現在の子ども・子育て支援事業の把握や評価を行い、事業計画策定に向けたニーズ調査を行なう。</p>							

<当初評価>

事業目的について

事業の目標、取り組みについて

その他

<中間評価>

進捗と事業効果について

課題等

その他

<最終評価>

平成25年度 総合計画ロードマップ 評価シート(イメージ案)

基本事業番号	38	担当所属	政策調整部 ものづくり経営交流センター					
基本事業名	ものづくりインストラクター養成スクールの開校と中小企業の経営改善指導							
総合計画の基本目標	3 地域を支える活力を生むまち							
総合計画の施策名	①商工業の振興							
事業全体の概要	＜事業期間：平成-年度～平成-年度（継続事業）＞							
産官学連携により、ものづくり経営交流センターを拠点とした地域産業の支援事業を展開します。								
事業全体の目標	＜総事業費見込 一千円（内一般財源 一千円）＞							
ものづくり技術を次世代に伝承し、地域の活性化を推進します。退職者などベテラン人材の持つ高度な知識・技術を地域の財産として活用し、経営改善のインストラクターを養成します。また、スクールを修了したインストラクターによる業務改善支援を実践し、生産力・収益力の向上による地域産業の活性化を目指します。								
平成24年度の事業概要と目標	＜予算額 8934千円（内一般財源 2034千円）＞							
ものづくりにおける高度な知識・技能を持つベテランの人材を経営改善のインストラクターとして育成するためのスクールを開校します。 また、スクールで養成されたインストラクターによる中小企業の生産性向上や利益率改善などの経営改善を実践します。								
平成24年度の実績評価	＜決算見込額 4211千円（内一般財源 806千円）＞							
<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">進捗度</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">5</td> <td style="padding: 5px;">評価</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">3</td> </tr> </table>					進捗度	5	評価	3
進捗度	5	評価	3					
産官学連携により、ものづくり経営交流センターを拠点とした地域産業の支援事業を展開しました。 8月～1月 インストラクター養成スクール開催（受講者10名） 企業訪問 22社、述べ42回訪問（市内17社、市外5社） 来訪者（視察64名）（協議・相談等113名）（インストラクター363名）								
平成25年度の事業概要と目標	＜予算額 7000千円（内一般財源 2000千円）＞							
ものづくりにおける高度な知識・技能を持つベテランの人材を経営改善のインストラクターとして育成するためのスクールを開校します。 また、スクールで養成されたインストラクターによる中小企業の生産性向上や利益率改善などの経営改善を実践します。								

<当初評価>

事業目的について

事業の目標、取り組みについて

その他

<中間評価>

進捗と事業効果について

課題等

その他

<最終評価>

平成25年度 総合計画ロードマップ 評価シート(イメージ案)

基本事業番号	44	担当所属	市民部 市民生活相談課					
基本事業名	生活再建・自立支援事業(平成25年度新規掲載事業)							
総合計画の基本目標	3 地域を支える活力を生むまち							
総合計画の施策名	④就労支援と勤労者福祉の充実							
事業全体の概要	<事業期間：平成25年度年度～平成31年度年度（拡充事業）> 厚生労働省の「生活困窮者自立促進支援モデル事業」に基づき総合的な相談と包括的・伴走型の支援、多様な就労機会の確保、家計再建支援と居住の確保等を行う。こうした様々な問題を抱える相談者に対応するため、モデル事業として2カ年実施し、終期は生活戦略の期間とする。（7カ年）							
事業全体の目標	<総事業費見込 126000千円（内一般財源 45000千円）> 生活困窮状態からの脱却、家計再建と居住の確保、ステージに応じた多様な就労の確保・職場への定着・自立等のなされた野洲市の構築							
平成24年度の事業概要と目標	<予算額 13006千円（内一般財源 ー千円）> *本事業は平成25年度からの新規事業です。平成24年度までは「事業通番43 パーソナル・サポート・システムモデル事業」として実施していたため、本欄には同事業の内容を参考のため記載しています。 相談事業 地域ネットワーク構築事業 居場所づくり事業(業務委託) 就労研修・支援事業 社会的就労事業(業務委託) の5事業を実施します。							
平成24年度の実績評価	<決算見込額 11843千円（内一般財源 ー千円）> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">進捗度</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">5</td> <td style="padding: 5px;">評価</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">5</td> </tr> </table>				進捗度	5	評価	5
進捗度	5	評価	5					
	*本事業は平成25年度からの新規事業です。平成24年度までは「事業通番43 パーソナル・サポート・システムモデル事業」として実施していたため、本欄には同事業の内容を参考のため記載しています。 年間の相談件数は3,742件で昨年度より93%増加した。就職面談の回数は249回(実人数125人)でうち就労決定者が88人あり、昨年度より66%増加した。社会的就労では体験の実施日が180日でのべ376人が就労体験を受けた。居場所づくり事業では述べ101人が事業を活用した。PS運営会議を年3回開催し、困難事例ケース検討会を12回開催するとともにシンポジウムを11/17に開催し関係課・機関等と連携を深めた。							
平成25年度の事業概要と目標	<予算額 17432千円（内一般財源 0千円）> 生活困窮者自立促進支援モデル事業の採択を受けて、 総合相談事業 就労支援事業 家計再建支援事業 地域ネットワーク構築事業 等の事業を実施する。 また、滋賀労働局と野洲市の一体的実施施設「野洲生活困窮者等就労支援コーナー」を設置し生活困窮者等の就労支援を行う。							

<当初評価>

事業目的について

事業の目標、取り組みについて

その他

<中間評価>

進捗と事業効果について

課題等

その他

<最終評価>